

市内高校のトップ切り 玉高祭が開幕

迫力ある演奏を披露した吹奏楽部のステージ



華やか舞台 趣向の展示

市内高校学園祭のトップを切って、玉野高の「玉高祭」が5日、文化祭の部で開幕した。71回目となる伝統のイベントは、初日から華

やかなステージイベントや趣向を凝らした展示が相次ぎ、校内はお祭りムードに包まれた。

(角南邦彦)



今年、創立80周年を迎えた玉野高。一人一人の努力や活躍が積み重なって学校全体が輝くようにと、テーマは「百花繚乱」と決めた。体育館では、箏曲部やバトン部、ダンス部が次々にパフォーマンスを披露。吹奏楽部の演奏には野球部員も友情出演し、全国高校野球選手権県予選での応援のお礼の気持ちも込め、歌やダンスでステージを盛り上げた。各教室にはクラスや部活動ごとに工夫した展示を用意。2年2組の「平成く令和へ」は、改元にちなんで平成の30年間の主な出来事を記した大型の年表を展示。訪れた人が自分の思い出を記したラベルを、当てはまる年に貼る。

平和への願いを込めて折られた折り鶴が揺れる教室

「百花繚乱」平和願い折り鶴飾る

り付けることができる。また、始まったばかりの令和が平和な時代になるようにとの願いを込め、クラス全員で作った500羽以上の折り鶴を、部屋いっぱいに飾っている。

保護者や卒業生らも大勢訪れ、校内は終日にぎわった。生徒会長の3年雨嶋光一郎さん(18)は「展示もパフォーマンスも、生徒一人一人が精いっぱい頑張っ